

前川國男生誕120年記念対談

福岡市美術館に息づく前川イズム

2025
11/16(日) 13:30-15:00 (開場13:00)

登壇者：橋本功(前川建築設計事務所 所長)、中山喜一郎(福岡市美術館 総館長)

会場：福岡市美術館 1階 ミュージアムホール

定員：180人

料金：無料

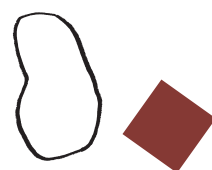
申込方法：申込専用サイトから応募ください。1件につき2名まで応募可。

申込締切：10月29日(水)

※応募多数の場合は、抽選。

※当選者の発表は聴講券の発送をもってかえさせていただきます。

申込
専用サイト



福岡市美術館
FUKUOKA
ART
MUSEUM

日本を代表するモダニズム建築の巨匠、前川國男。日本人で初めてル・コルビュジエに師事しました。〈東京都美術館〉〈東京文化会館〉〈熊本県立美術館〉〈新潟市美術館〉など、全国各地で美術館や音楽ホールを手がけた公共建築の名手でもあります。

1979年竣工の当館も前川が手掛け、赤茶色の磁器質タイル、広々としたエスプラナードやロビー、アーチ状の天井やはつり壁面、照明などを特徴とし、長い間市民に親しまれてきました。開館から長い年月が経過し、施設の老朽化が進んだため、2019年にリニューアル。前川國男の建築意匠を継承しつつ、大濠公園でくつろぐ方々を館内に誘うアプローチを設けるなどさらに魅力ある美術館へとリニューアルしました。

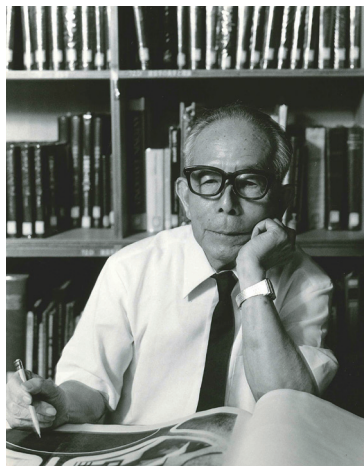
今回は、前川建築設計事務所 所長・橋本功氏と当館総館長・中山喜一郎が、前川國男の建築思想や当館開館時やリニューアルオープン時のエピソードをお話します。

橋本功 [前川建築設計事務所 所長]

1970年(株)前川國男建築設計事務所入所。1994年(株)前川建築設計事務所取締役。2000年代表取締役役に就任、現在に至る。主な担当作品：福岡市美術館、埼玉県立自然の博物館、千葉県東総文化会館など。現存する多くの前川建築の保全・改修に取り組む、その存続に係り続けている。

中山喜一郎 [福岡市美術館 総館長]

専門分野は日本近世絵画。1981年から福岡市美術館学芸員。古代文明から現代作家、サブカルチャーまで様々な特別展を約30本企画。福岡市博物館学芸課長、美術館運営部長、副館長、館長などを経て2020年より現職。主な著書として『別冊太陽 ユーモアあふれる 禅のこころ 仙厓』(監修・共著、平凡社、2016年)、『仙厓の○△□ 無法の禅画を楽しむ法』(弦書房、2003年)など。



前川國男 (1905～1986)

日本近代建築の巨匠、前川國男(1905～1986)。若き日に世界的建築家のル・コルビュジエに西欧近代建築を学び、やがて日本を代表する建築家として頭角を現す。岡山県庁舎(1957年)や東京文化会館(1961年)など多くの公共建築のほか、1960年代後半から各地で公立美術館・博物館の設計をしており、当館もその1つに数えられる。

前川國男
撮影者：廣田治雄
写真提供：前川建築設計事務所



1



2



3



4

撮影：[表][1] 山中慎太郎(Qsyum!)/[2][3][4] 株式会社エスエス上田新一郎

お問い合わせ：

福岡市美術館 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園 1-6 TEL 092-714-6051 FAX 092-714-6071



福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM